

ポップでわかる！ 飲食店の衛生管理

# 安心はおいしい



安心はおいしい

新型コロナウイルスの感染症対策が家庭や職場で浸透し、少しずつ以前の生活が戻ってきました。大分県では飲食店が取り組む新しい生活様式に沿った衛生管理の見える化を進めています。その名も「安心はおいしい」。どのようなプロジェクトなのでしょう。

## 6月よりダウンロード開始

### 衛生管理の表示に役立つポップ

都道府県をまたぐ移動の自粛要請が全面解除（6月19日）となり、新しい生活様式を踏まえながら、人と人との交流が再開されました。「いつものお店でランチしよう」「週末はディナーに出かけよう」と外食する機会も増えてきています。けれど、入店前に「このお店はきちんと対策を取っているのかな」と不安になることも。店頭で飲食店がどのような衛生管理に取り組んでいるのかが判ると、消費者は安心して扉を開けることができます。

大分県生活環境部食品・生活衛生課では、「お店の対策を見える化する」ということで、お客様が入りやすくなるのではないかと

## 新しい生活様式に沿って

### 飲食店・家庭をキレイに保つ

8ブロックは入店時、客席、サービス、会計、従業員、店舗の衛生、トイレの衛生。その他の衛生に分けられています。店舗の構造によってはチェック不要の項目があるため、1つ星であっても対策が疎かになっているわけはありません。「お店の方から3つ星でない」とポップを貼りにくいという意見もいただきましたが、各店で対策を進めることで星を増やしていくことができます。そもそも1つ星でも取り組みをしている時点で安全と安心を意識して経営されているのです。消費者の方もその点に気をつけてポップを確認し、店内で食事を楽しんでいただきたいと思いますね！

また、サイトではポップ以外にもフリーで利用できる16種類の素材が用意され、ダウンロードして印刷・掲示などで利用することができます。たとえば、グラスなどの回し飲みは避ける、トイレの使



大分県生活環境部食品・生活衛生課の林さんが手に持つポップ見本。カラーは3色から選べ、ポップ以外にもフリーで利用できる素材が用意されています。

しい生活様式に沿った衛生管理が一目でわかるポップを作るためのサイトを立ち上げました。食品・生活衛生課食品衛生班の林由美さんは、飲食店への掲示物配布ではなく、店主自身がインターネットを使って作成する形にしたかったと話します。「テレワークに代表されるように、なるべく人との接触機会を減らせる方法にしました。お店の方には食品衛生法に新型コロナウイルスの感染症対策をプラスした40項目に対して、該当する衛生管理の内容をチェックしていただきます。8ブロックそれぞれのチェック数によって、1つ星から3つ星までが表示される仕組みです」

サイトで店オリジナルのファイルを完成させたら、プリンターでA3もしくはA4サイズのポップを出力します。店外や店内への表示、ホームページや店の情報発信などに役立てることが出来ます。

用後は蓋をしてから流すといった行為に関する内容です。感染症対策を必要とする場所に、それぞれの素材を掲示できると来店者の注意を引けるようになります。

新しい生活様式に沿った飲み会も注目されています。入店時の消毒はもちろんのこと、対面ではなく少人数で横並びに着席して飲食する、大皿で盛りつけられたものは直ぐにきれいな箸で小皿に取り分けるなど以前とは一部異なるスタイルが始められました。

「安心はおいしい」プロジェクトは家庭でも実践できるヒントがいっぱいです。たとえば、部屋の換気や毎日のトイレ掃除といった項目は日常に取り入れていくもの。林さんは台所をキレイに保つてほしいと注意を促します。「食中毒のリスクを低減させるために生肉を調理するときは中心部まで加熱する、二次汚染を防ぐために調理器具は一回ずつ洗浄するといいですね。使い捨て手袋をしているからと安心して、携帯電話やスィッチに触れた後、食材を触ってしまうことが原因で食中毒になることもあります」

感染症対策は日々追うごとに内容が変わっていきます。行動制限されていたものが解かれたり、特定の場所で一定時間いることが可能になったり。感染症を恐れて不安な気持ちのままでは必要はありませんが、自身の行動が自分や大切な人を守ることに繋がっているのか考えていきたいものです。

入店時、客席、サービス、会計、従業員、店舗の衛生、トイレの衛生、その他の衛生（全8ブロック）に対して、それぞれ5つの質問があります。

#### 《入店時》に対する質問

- 店舗入口には、発熱や咳など異常が認められる場合は店内飲食をお断りする旨を掲示している。
- 店舗入口や手洗い場所には、手指消毒用に消毒液（消毒用アルコール等）を用意している。
- 店舗入口及び店内に、近距離での会話は控えることや大声は避けることをお願いする旨を掲示する。 etc

上記の質問に答えていくことで、取り組み度合いが3段階で表されます。3つ以上チェックが入ると★3つに。



#### 飲食店の皆さん、ポップを作成してみませんか？

サイトを利用して店内POPを作成するには

- 1 下記URLまたはQRコードよりサイトへアクセスし画面内にある「飲食店の方へ」をクリックしリンク先のページより「POPを作成する」をクリックします。
- 2 新しい生活様式への取り組みに関する各設問への回答にチェックし「POPを作成する」ボタンを押してください。
- 3 生成されたPDFをダウンロードして、プリンターで出力して店内POPの完成となります。

他にも「安心はおいしい」プロジェクトの取り組みについての情報や新しい生活様式への取り組みで利用できる素材の提供などもご利用できます。

<https://anshin-oishi.com>



## ポップ作りに密着しました!!

白杵市の飲食店に協力いただき、ポップ作りにチャレンジしてもらいました。山崎店長がタブレットを使用して、サイトを開くところからスタート。40項目のうち該当するものにチェックして、およそ15分で店オリジナルのファイルが完成しました。



取材協力 **山崎**  
白杵市あすとびあ10  
☎0972-63-5357

#### 現状の衛生管理にプラスしたい

山崎店長は8ブロックに分かれた各項目を見ながら、「今まで以上に気を引き締める必要がありますね」と話します。ふだんから衛生管理は徹底していましたが、新型コロナウイルスが広まった今年3月以降は、アルコール消毒の回数が増やす、定期的な換気、オゾン脱臭器の設置などの対策をとってきたそうです。けれど、サイトにある40項目は山崎店長が想定していなかったことも挙げられていて、これまでの対策にプラスできる部分があると感じています。



#### フリー素材はトイレやレジ周辺に掲示

完成したファイルをポップとして出力した後は、店頭や1・2階の各ゾーンに掲示しました。「トイレやレジの周辺で個別にフリー素材を掲示するのもいいですね。お客様もスタッフもイラストを見るだけで、パッと思い出すことができますから」

外出自粛期間中は来店客が減りましたが、その分テイクアウトの注文が増え、弁当やスイーツメニューを充実させたそう。自粛要請が全面解除となつてからは少しずつ客足が戻ってきているようです。読者のみなさんは店頭のポップで、新しい生活様式に沿った衛生管理ができていく飲食店だと確認してみてくださいね。